

昭和62年 2 月15日

No. 9



ROTARY INTERNATIONAL

Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries of District 260

国際ロータリー第260地区
塚田 和男

〒380 長野市県町576
ホテル長野国際会館内 PHONE:0262-34-3435
F A X:0262-33-3655

Rotary Brings Hope

ロータリーは希望をもたらす

District 260

KAZUO TSUKADA

Hotel Nagano Kokusai Kaikan
576 AGATA-MACHI, NAGANO CITY
JAPAN 〒380/PHONE:0262-34-3435
FAX:0262-33-3655

=2月は世界理解月間=



260地区ロータリアンの善意
¥5,288,862
大島噴火災害義援金

塚田和男



国際奉仕委員会の仕事



260地区国際奉仕委員長

森 泰 樹

ロータリーの部門の中で国際奉仕委員会の仕事は広汎多岐で、どこから手をつけていいかわからぬということでなかなかやり難い部門ときいている。国際理解の一助となればどんなテーマであってもいい訳であるが、地区の予算も限られていることではあるし、その範囲内で最も効果のいいと思われるテーマを選ぶ他ないと思われる。この地区では2回程G S Eがとりあげられたから、数年このプロジェクトをお休みして、青少年交換とW C S活動の2つのプロジェクトに力点を置いている。

これから日本の中堅となって行くのであろう若い学生をアメリカ・カナダ及びオーストラリアに一年間派遣して彼の地の人々の家に居住させて、みっちりや彼等の生活の仕方、ものの考え方を身をもって体験して来て国際理解を周囲に広げていくということに力を入れて、ここ数年来このプロジェクトをつづけている。今年の計画は次の如くである。

〈派遣〉

1986年3月出発 翌年3月帰国 アメリカ 1
カナダ 2
オーストラリア 6
計 9 名

1986年8月出発 翌年7月帰国 アメリカ 6 名
1986年7月—8月 短期派遣 アメリカ 4 名

1987年3月出発 翌年3月帰国 カナダ 3
オーストラリア 4
計 7 名

1987年8月出発 翌年7月帰国 アメリカ 7 名
1987年7月—8月 短期派遣 アメリカ 3 名
〈受入〉

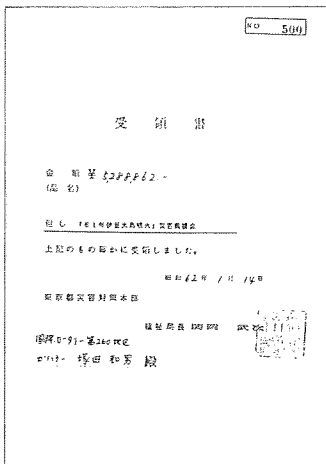
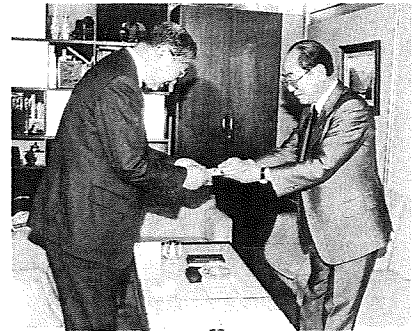
1986年1月—翌年 オーストラリアより 5 名
1986年8月—翌年8月 カナダより 3 名
アメリカより 6 名
計 9 名

1987年1月—翌年1月 オーストラリアより 5 名
そのみかえりに地区で受入れ学生の引きうけクラブをみると、3月受入れ9クラブの中、長野県4名、愛知県5名で、8月受入れ6クラブでは長野・愛知半々の3名ずつとなっている。いよいよ今年7月から地区が分割されるが、長野の方にはこの勢いで頑張ってもらいたいし、愛知県はこの辺りで禪をしめてかからねばならないと思う次第である。このプロジェクトはエネルギーとやや専門的知識を必要とするので、長い間精力的にやって頂いた加藤一三さん（名古屋北）に代って目下、木本精之助さん（名古屋）にやって頂いて、大いに実績を挙げている。

もう一つのプロジェクトはW C Sである。これは援助してもらいたい国のロータリークラブがR.I.に申出て、そこで認められたプロジェクトが発表されると、資金料に応じてそれに参加するのであるが、この地区ではそのプロジェクトによらず直接フィリピンの医療援助にとり組んでいる。小委員長の赤津賢太郎さん（名古屋南）と国際奉仕副委員長の下郷弥太郎さん（名古屋東南）がたびたびフィリピンを訪れて、X線装置、心電計、顕微鏡や酸素テント等を持って訪れて、彼の地で大変感謝と歓迎をうけている。2月は又二人で出かけるというのであるが、政情不安の彼の地で何か事があっては大変と、私は秘かにブレーキをかけているような次第である。

さすがロータリ안의善意
総額5,288,862円
伊豆大島災害義援金を贈る

当地区では、地区内クラブに大島噴火災害義援金を贈ろうと、呼びかけて参りましたが、この程その総計実に5,288,862円に達しました。ご協力に感謝申し上げます。早速、1月14日塚田ガバナー自ら東京都庁におもむき、260地区6,688名の善意を伝え、義援金を直接貫洞副知事に手渡しました。席上、同副知事より、心から有難く厚く感謝する旨のお礼の言葉と会員の皆様に宜しくお伝え下さいとのメッセージがあり、同時に、そして一日も早い復興のためロータリーの皆様にも是非大島観光にご来島下さるようお願いがありました。

[illegible]

■中日新聞
(昭和62年1月15日(木曜日)付)

[illegible]

■信濃毎日新聞
(昭和62年1月15日
(木曜日)付)

WCSだより

(世界社会奉仕小委員会)

国際大会に先立ち開催される第一回WCS会議のお知らせ

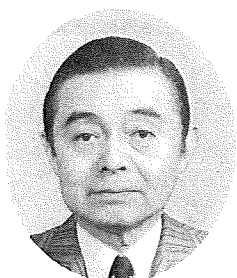
R.I.理事会はその10月の会合において、1987年6月6日、ミュンヘン大会に先立って、第一回WC S委員長会議の開催を承認しました。関心のある全てのロータリアンは、R.I.に負担をかける事なく、奮ってご参加下さるよう勧められて

います。会議のハイライトには実施中のWCS活動を紹介し、また新しいWCSプロジェクトがどのように着手され、資金の援助を受け、継続されるかを説明する新しいビデオテープの上映が予定されています。このテープは2月27日から3月3日にかけて米国テネシー州ナッシュビルで開催される国際協議会においても披露されることになっています。

(事務総長書翰より)



半年を振り返り "ガバナー公式訪問を終えて" 分区代理所感



「自問自答の半年」

尾張第一分区代理

小島 洋一

1986年～1987年度も、早くも半年が過ぎました。お陰様で、尾張第一分区はガバナーの公式訪問も予定通りすべて終了、2月15日に予定されておりますIGFを残すだけとなりました。

従来の20クラブの尾張第一分区が3つに分かれ、尾張第一分区の名前はそのままですが、20クラブから5クラブへと小さくなったとはいうものの、たった5クラブのガバナーの公式訪問のお手伝いをするだけで、大役を果たしたような気持ちに陥りますが、それにつけても、96クラブの公式訪問をされますガバナーのご苦勞が偲ばれる次第です。

この半年間を振り返ってみますと、分区代理の任務とは何ぞやという自問自答の繰り返しであったような気がします。たまたま、ロータリーの友1987年1月号にも、26頁に、分区代理の指針、その任務について書かれているのを読み、同じ思いをするのは自分一人ではないのだと意を強くしましたが、既に半年間済んできたとはいえ、分区代理の任務に就いては、未だに釈然としない部分が残っているのは否めません。

IGFに就きましても、既に1984年の手続要覧から消えてしまい、今度の新しい1986年版の手続要覧でも、IGFに就いては何処にも記載がありません。ただ、分区代理の一般的任務として、都市連合会を計画準備することとあるだけで、何をよりどころにすればよいのか分かりません。

IGFの司会者、フォーラムリーダーにしましても、尾張第一分区では、従来分区代理がつとめてきているようですが、これも分区代理はただ計画準備するだけで良いようにも思えます。

このように一方では、難しい、整然とした手続要覧があり、他方では混乱もあり、永年の慣習もありながら、しかも、うまくミックスして、友愛の精神に支えられて運営されていくのが、ロータリーの良さであろうと思います。

残された半年間、分区代理の任務、IGFの在り方等の勉強を更に続けながら、改めて、ロータリーとは何ぞやを自ら問い直し、ロータリーの真髓に少しでも近付けるよう努力したいと念じております。



「ロータリーの在り方を 教えられ、新メンバー へ伝えたい」

名古屋第一分区代理

今井 富夫

R.I. 第260地区の尾張分区が名古屋第一、名古屋第二及び尾張と三分区に分割されて最初の名古屋第一分区代理を承って半年が経過しました。名古屋第一分区は名古屋クラブを筆頭にかなり大きな8クラブがテリトリーになっており、この半年の間に塚田ガバナーに随行して全部訪問しました。どのクラブにもキャリアと経験の深い方が多数みえて教えられる事が多く大変勉強になりました。

殊に塚田ガバナーは大変活動的でスマートな行事処理をされ、分区代理にも細く御氣を使っ頂きロータリークラブの幹部としてはどうあるべきかを勉強させられました。



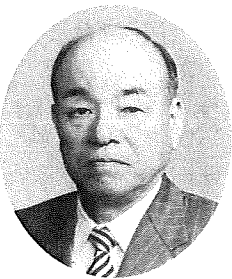
分区分代理に就任させて頂く直前期は名古屋南クラブの会長を一年勤めさせて頂きましたので、通算してこの一年半はロータリークラブの在り方について勉強することばかりでした。こうして、先輩諸兄から教えて頂いたロータリークラブの在り方についてのノウハウを、新しくメンバーになれる方に伝えたいという希望に燃えています。

また、国際奉仕問題については赤津、下郷の両氏にマニラのマラボンその他の各クラブで日本のロータリークラブはどうあるべきかを手に取って教えられました。ロータリークラブにこうした良き先輩がみえ、教えられる事を深く感謝しております。

国際問題では、私が会長の時高木健太郎先生に御伴したネパールから金子大使が、遙か日本の名古屋南クラブまで御来賀になり友好を温められた事も印象的であり、これに対して名古屋南クラブのメンバーによって国際的な処理を適切に行って頂いた事を感謝しております。

私の分区分代理任期も残り半期となりましたが2月1日のI.G.F行事があり、塚田ガバナーの御来臨を仰いで無事済ませる事を祈っております。幸いこのI.G.Fは名古屋第二分区分の方々と共に開催させて頂けますし、実行委員の方も大変な力を入れようでありますので、定めし分割前に劣らない行事が実現できるものと確信しております。

塚田ガバナーの御指導の許に残り半期を無事乗り切れる様祈っている次第です。



「大きな収穫 心のふれあい」

名古屋第二分区分代理
尾関重雄

「光陰矢の如し」と云う諺がありますが、全く私の現在の心境はその通りでして、と申しますのは、私は去年の今頃は分区分代理の委嘱を受け、受諾して苦悩していました状況でして、任期一年間任務の重責を無事果たすことが出来る

様祈っていました。

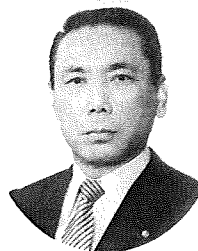
さて第一の関門とは申しますと、色々と事前研修を受けました結果から、分区分代理はガバナー公式訪問迄に各クラブの状況を把握するまで心配でしたが、私は公式訪問に際して、各クラブをお願いしたことは、お互に虚礼を廃止して、本当にガバナー訪問の目的を達成出来る様にしたい事でしたが、各クラブ共事前に質疑事項を用意して頂き、セレモニーも簡素化して、委員長の方達と懇談する時間を多くとって貰いましたので、意思の疎通を図る事が出来て、非常に有意義でした。

私各クラブを訪問して一番感じたことは、各クラブ共に、素晴らしいクラブであると言う事、各クラブはそれぞれ会長、幹事様を始め、皆さんが地域社会に密着した奉仕活動しておられるのを目の当りに見て感銘を受けました。

分区分代理と云うものは、地区内クラブの案内役だと思っておりましたが、それはとんだ思い上がりで、役職上教える事は教えられる事、与える事は与えられる事だと痛感しました。

「心のふれ合い」これがガバナーと公式訪問に同行しての一番の収穫でした。

終りに臨み、お陰様で先輩各位の一方ならぬ御指導と、地区委員の諸賢を始め、傘下各クラブの会員皆様方の温い御支援と御協力にて、今日迄無我夢中アツと云う間に、大過なく果して来ましたがことは私の生涯の感激であり、衷心より厚く御礼申し上げますと共に、私には未だ最も重大な任務のI.G.Fがあります。どうかこれが成功裡に終り、有終の美が飾れます様御協力御指導の程伏してお願い申し上げます。



「ガバナー ご苦労様」

西尾張分区分代理
箕浦弘美

12月10日の尾張中央ロータリークラブをもって西尾張分区分内8ロータリークラブの塚田ガバナー



公式訪問は終わった。

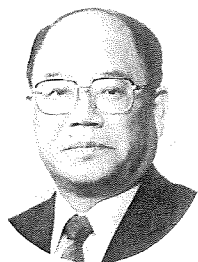
ガバナーご苦労さまでしたと心からそのご労苦に敬意を表したい。

西尾張分区内たった8ロータリークラブの事前訪問で“あご”を出している私であるのに、第260地区内96クラブを公式訪問させられるガバナーは、余程の、根気と、忍耐と、健康が必要であり、それを達成されたご努力は、唯々垂頭スエのいたりであります。

然しこのハードスケジュールをみているとき、はたしてこれだけの犠牲を支払わなければならぬのであろうか？

そしてこれだけの献身を強いるものは何だろうか？しかしこれだけの犠牲があるから、各クラブの例会は、各クラブともそれぞれの特徴をもってそれぞれが、いろいろと工夫をこらして立派な例会を行っているのかも知れない。

例会場の設営、例会時の軽い体操、昔なつかしい唱歌等々。誠にそのご努力は、立派と感じ入る次第である。以上



「ロータリアンの 心にふれて」

東尾張分区代理

向 博

東尾張分区10R.C.の公式訪問も、塚田ガバナーのお供をして今年1月13日無事終了しました。

私事ながら昨年6月15日ふとした不注意から足の骨折をして、2ヶ月間ギブスと同居するはめになりました。事前訪問も公式訪問も松葉杖の生活になりました。ところがお陰で数多い思い出に出合う事ができました。

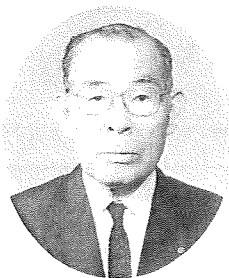
銀行の二階の例会場は特別に階段が長い、或るR.C.の副会長さんが突然「分区代理、私が背負って上がりましょう」何故でしょう、グッと胸につかえるものが。あの感動、あの感激は今も忘れる事は出来ません。ロータリーってこんな事がある。思いやりってこんな事なのだ。ロータリアンでよかった。或る時会長さんは直立不動、とまどったのは私。御挨拶もきわめて丁寧、お体が悪いのに……よっぽど私の松葉杖

姿が痛々しかったのか、初めから終りまで心からの気配りをしていただいた。初めて会った会長さんなのに何故、唯同じバッチをつけていただけなのに。分区代理だったからだろうか、そうではない。ロータリアンは常にかくあるべきだと教えてくれたのだ。良い人に会えた。さわやかな事前訪問であった。

或る夜の会合に招かれた「どうぞお二階へ」松葉杖での二階はつらい、ところが階段のところに或るR.C.の会長（医師）さんがにこやかに待っている。一緒に二階へ、帰る時も行動のにぶい私を、階段の降り口で待っていてくれた。「分区代理が又落ちるといけないからね」実は私の骨折の原因は階段の踏みちがい。人の心の温かさをしみじみ感じた。人のやさしさも知らされました。何とお礼を申し上げたらいいのでしょうか。ロータリーはこんな人々の集いなんですね。

皆さん、たまには骨を折ってみませんか。こちよい思い出がいっぱいになりますよ。

ギブスをはめた2ヶ月間、大好きな酒もプツリ止めました。それは塚田ガバナーに御迷惑をかけたくなかったから。例会がはじまる「塚田ガバナーの御入場です」全会員が拍手で迎える。会長先導のもと、スマートな塚田ガバナーに続いて松葉杖の私、みじめですね。しかし2ヶ月間の禁酒のお陰で、血圧正常、痛風も消えた胃も快調、只今はすっかり元気になりました。



「これからが本番」

三河第一分区代理

久 曾 神 昇

“百里を行く者は九十九里を以て半”とすべきですが、客観的日数では折返点に到達した次第で、ガバナー事務局より連絡がありましたので、敢えて申し述べます。

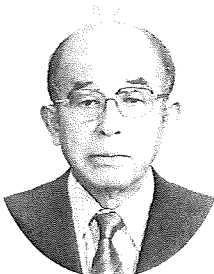
分区代理を承りました最初、事前訪問の報告など全く自信がなく困惑しましたが、森バスト・ガバナーがむしろ形而上学的にときとして下さったので、救われた気持ちになりました。諺歌に“為せば成る為さねば成らぬ何事も、成らぬは



人の為さぬなりけり”と申しますが、全くその通りでありまして、無能ながら誠意を尽くしましたところ、各クラブの会長、幹事をはじめ各ロータリアンの友情に支えられまして、事前訪問もその報告も大過なく終えることができました。

公式訪問の際、塚田ガバナーに接して痛感した点を申し述べたいと思います。言うまでもなく、立派な人格者で、且つ博愛の精神の行き届いた方でありますことなど、すべてここには割愛させていただきます。まず注意したいのは親近感であります。今まで十余度公式訪問を体験しましたが、多かれ少なかれ、ガバナーはいわば神性を帯んでいたようでありましたが、現ガバナーは地上界に自ら降り立って、親身になって説明せられました。隣席をけがしその実感を特に深くしました。更にその説明は理路整然、足らぬ所もなく、無駄な所もなく、いわば必要最小限に、約30分間極めて有効に活用なさいました。今までこれほど明快な模範的訓説を拝聴した記憶がありません。ややもすると無用な装飾があったり、冗漫な導入があったりしますが、今年度は雑念を洗い去ったエキスの説明に終始せられたように思いました。質問などについても、短刀直入まことに明解でありましたので、わが豊橋R.C.の青木会長が、奇しくも“快刀乱麻を断つ如くに”と謝辞の中で述べられましたが、まことに同感でありました。

分区分代理としましては、今まではいわば準備段階で、これから本番とも言うべきI.G.Fがあります。ガバナーをはじめバスト、ノミニエ諸賢の高底を仰ぎ、殊に豊川クラブの全霊献身的尽力に倚藉して、恙なく終えることができるようにと念願する次第であります。



「充実した時間帯」

三河第二分区分代理

田中 邦夫

はずかしながら、最初の危惧はどこえやら“教えられることのみ多かりき”というのが実感です。伝統、人の和、人間味、心の豊かさ

あちらこちらでいろいろな事を教わりました。数多くの素晴らしいロータリアンにも出会いました。私にとっては二度とない思い出に残る心の旅でした。特に塚田ガバナーに随行させて戴いての前後12回のクラブ訪問行は、私の人生歴の中でも最も充実した学ぶこと多く、心楽しい時間帯であったと深く感銘しております。

次に各クラブ訪問の回顧ですが、御承知の様に12クラブ夫々素晴らしい特長を数多くもっており、会場等の雰囲気によって多少ニュアンスは異なりましたが、いずれのクラブも御期待に添える様な明るく、楽しい例会ムードを漂わせていたことにも安堵致しました。

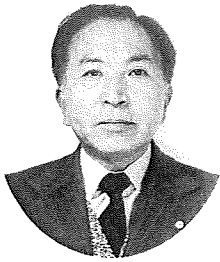
又、各会長・幹事さん達の晴れやかな笑顔は誠に印象的でした。然しその中でも私が特に関心をもちたせられた話題について御報告申し上げたいと思います。

Aクラブでは3月中に次期会長の指示に依り、次期幹事委員長との会合をもち、爾後数回にわたり、コミュニケーション会合を開催して、その都度正確な議事録にまとめ、各出席者の捺印を得て新プロジェクトを含む、各委員会の計画・立案を審議していました。特に必要な事項については、その準備体制を着々と前もって推進していたという好事例です。勿論他のクラブでもそれなりの先行体制を進めていたことは確実ですが、今一歩の決め手に欠けていたクラブもあった様に感じられます。“終り良ければ、すべて良し”の結果論ではなく今後各クラブがこの事例を参考に各々のクラブ体質に相應しく、もう一歩の決め手を考案されれば……と欲張って見たからです。毎年のことながら殆どのクラブでは年次報告書及び年次計画書づくりには年度の会長・幹事達が随分と御苦労されておられるであろうと推測されます。是非この様な現状打破の為にこそして出来ることなら、いずれのクラブにおいても7月の初例会以前に少なくとも次期年次計画書だけでも全会員に配布して新年度会長指針等が全会員に理解され支持された時点からのスタートが最も好ましいことではないかと思ふからです。来る3月8日の当分区分のI.G.Fではその事例を発表して貰って各クラブの参考に供し各クラブ独自の英知でこの長年の宿題解決の活路を発見してほしいものだと楽し



い期待を寄せております。

尚、I.G.F開催に関しましては田中則雄実行委員長、加藤喜作幹事さん達にお任せしておりますが諸準備及び関係各クラブとの連絡を密にしながら、体制づくりを進めておりますので御安心いただきたいと思います。



「各クラブの友情に 迎えられて」

東信分区代理

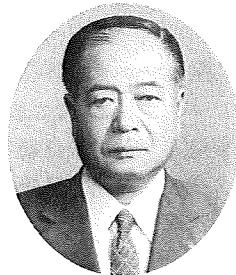
篠原 和 一

今年度地区大会のホストクラブとして大変御苦労戴きました上田クラブ様のガバナー公式訪問に出席、東信分区代理としての始まりとなりました。各クラブの公式訪問も終りいよいよ後期を迎えました前半をふりかえって見ますと、塚田ガバナー公式訪問を中心にそれぞれ各クラブがガバナー方針に前向きで御取組み戴いており分区代理として誠に有難い事で御礼申上げる次第です。私のような未熟者でもロータリーの友情を得て温く迎えてくださる各クラブの皆様に対し何としても分区代理としての出来ることは努力して参らなければならないと思います。

東信分区7クラブそれぞれ特色があり大変勉強させて戴きました。このことはホームクラブのみに出席の多い方又メイキャップも決まったクラブに多い方は都合もありましょうがせいぜい外に目を向けて戴き多くのクラブにメイキャップされますことをお勧めします。温く迎えて戴き勉強にもなり又ロータリーの良さも一層感じることでしょう。

本年度ガバナーの特に希望されておりますクラブ拡大の件東信各クラブそれぞれ御考え御取組み戴いておられるわけですが後半四ヶ月半一層の健闘を期待し分区代理としても努力して参りたいと思います。新生長野県第260地区の為に、さて後半もう一踏ん張りとし励ましの言葉を戴きながらI.G.Fに向いますホスト丸子クラブ会長様始め皆様到大変御世話になりますがよき勉強会になりますように東信分区各クラブ皆様の御協力を御願い申し上げます。

本年度はなにかと特別出費の多い年であります。がポリオ・プラス基金及ロータリー財団ならびに米山奨学金等意義ある年度内協力をいたしましょう。最後に、ロータリーは希望をもたらすR.I.会長賞受賞資格取得に向け努力いたしましょう。



「日々に役立つ I.G.Fを」

北信分区代理

山田吉之助

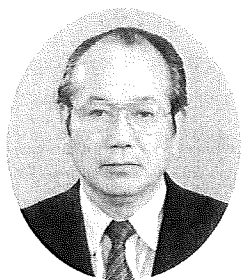
ガバナー公式訪問を終え半年をふりかえってみて、第一に塚田ガバナーには第260地区全域96クラブの公式訪問をスケジュール通り無事終了した事は本当に御苦労様でございました。塚田ガバナーの精力的行動で、昨年12月までに90クラブ、1月に豊山城北クラブ、北信分区の5クラブ（中野、長野南、長野東、長野北、須坂）と公式訪問を終え、その間上田における地区大会等諸行事を見事7ヶ月間の短期間にやりこなした事に対し、心から敬意を表する次第です。何としても塚田ガバナーの心身共に強健な事と、ガバナーを取り巻く周囲の方々の協力支援、各クラブの友情と好意をもって温く歓迎していただいた配慮によるものと、ガバナーと共に心から感謝し喜びたいと思います。

第二に北信分区内にこの1月30日に長野クラブを親クラブとして、約50名のメンバーを擁する長野西クラブが誕生いたしました、本当に喜びにたえない次第でございます。御存知の通り本年7月より第260地区が分割されて、長野県が1地区として発足する事になっていますが、その第一の目標とする拡大増強に第一歩を踏み切る事が出来まして、親クラブ、特別代表の方をはじめ分区内のクラブの方々の御支援御協力を心から感謝いたす次第でございます。これを契機として、この年度内に長野県内に予定通りの新しいクラブが誕生して、目標とする拡大増強が出来ます事は本当に喜ばしい事と存じます。ロータリーの拡大増強は本当に結構な事でございますが、肥大化するにつれ硬直化、形式化、マンネリ化する面もあるのではないかという声も



あり、一方においては大多数のメンバーは日々の仕事の忙しさから、ロータリーの活動を効率的に簡素化して欲しいという声もある様ですし、またロータリーの奉仕活動も物的面ばかりでなく、もっと善意とか思いやりという様な「心」に重点をおくべきであるという様な声もある様ですが、これからのロータリー活動が発展して行く中で考慮すべき問題点ではなかろうかと思えます。

第三に分区代理として一番大事な役目となりますI.G.Fが後半の任期中に残っているわけですが、I.G.Fが形式的、ありきたりのものにせず、魅力ある、中味の濃い、意義あるものにして、少しでも日々のお仕事にお役に立ちたいと存じております。特に最近の円高不況からの不透明な経済環境に如何に乗り切る事が出来るかを方向示唆してくれる様な経済学者を講師として、勉強会を交えてI.G.Fを催したいと存じますので、分区内の多数のメンバーが御参加される様御願ひいたします。



「拡がった 友の輪」

南信第一分区代理
堀 英文

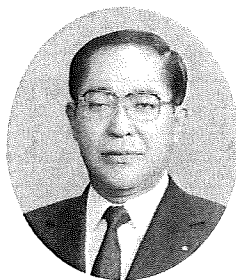
南信第一分区という地区で最も大きい分区の分区代理をお受けして、任期の半分を何とか経過いたしました。14クラブの会長、幹事始め分区内730余名のロータリアンの友情に支えられたお蔭であると、心から感謝しております。

ガバナー公式訪問に随行し、各クラブが夫々特徴のあるクラブ運営と奉仕活動に努力しておられる状況を拝見し、私自身の最高の勉強になり大変貴重な経験をさせて頂いたこと、また多くの友の輪を拡げることが出来たこと、大変幸せであったと思えます。

懸案であった、分区の分割も11月28日松本に於て開催された分長幹事会に於て決定することができました。次年度、地区の分割と共に、中信分区（9クラブ）と南信第一分区（5クラブ）に分割され、次期中信分区代理に松本南の穂苅

甲子男君、南信第一分区代理に岡谷の高橋明君に決定いたしました。

14クラブの分区の最後の分区代理として、誠に至らぬ分区代理でございますが、分区内の皆様の一層の御指導と御協力によってI.G.Fを成功させ、残りの任期をつつがなく努めさせて頂きたいと思えます。宜敷く御願ひいたします。



「明るく楽しく 先ず行動を」

南信第二分区代理
藤 沢 今 正

分区代理をおおせつかつてはや半年、月日のたつのは早いものだとつくづく感じている今日この頃です。

その間、ガバナー訪問も、塚田ガバナーの力強い御指導力と各クラブの会長、幹事、役員、理事の皆様方を初め、会員各位の熱心な御協力により、当分区内8クラブ全部が無事終了いたしましたことは、御同慶の至りでございます。

当分区としては、3月8日にI.G.Fを行うことになっており、ホストクラブの箕輪R.C.の皆様には何かと大変御世話になる訳であります、分区内各クラブの皆様方の絶大なる御協力を御願ひする次第であります。

来年度からは長野県のみ第260地区になるのをひかえ、当分区内にも、出来ましたら52クラブの新クラブを結成して戴きたいと、鋭意努力中でございますが、特に飯田、飯田東、並びに伊那クラブの御努力を切に期待している様な次第でございます。

本年の会長テーマ「ROTARY・BRINGS HOPE」"ロータリーは希望をもたらす"についても、当分区としては、新クラブの結成こそ第一歩と考えている次第です。

又、塚田ガバナー指針「明るく、楽しく、そしてまず行動を」にもそって、残された半年間を努力して参りたい所存でありますので、よろしく御願ひ致します。



昭和62年1月度

分區別会員数及び出席率

昭和62年1月最終例会日現在

分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減	分 区	クラブ名	会員 数	出席 率	例 会 数	前会 員 月 数	増 減
尾張第一分 区	半田	71	94.81	3	71		三河第一分 区	安城	78	96.53	4	76	+2
	半田南	52	98.45	4	52			碧南	73	98.94	4	72	+1
	東知多	51	96.81	4	51			刈谷	51	98.69	3	52	-1
	常滑	64	98.37	4	64			刈谷	85	100.00	4	84	+1
	東海	59	92.87	4	60	-1		西尾	80	98.35	4	80	
	5 R C	297			298	-1		岡崎	97	99.70	4	97	
名古屋第一分 区	名古屋	224	96.62	4	222	+2	東信分 区	岡崎東	70	100.00	3	70	
	名古屋南	127	99.78	4	125	+2		岡崎南	82	99.05	4	83	-1
	名古屋港	110	100.00	4	111	-1		高浜	44	100.00	4	44	
	名古屋瑞穂	74	100.00	3	72	+2		豊田	95	100.00	3	95	
	名古屋中	122	99.17	4	122			豊田東	71	98.21	4	70	+1
	名古屋西	151	95.45	3	152	-1		豊田西	88	98.28	4	85	+3
	名古屋大須	69	99.04	3	71	-2		12 R C	914			908	+6
	名古屋東南	83	100.00	3	82	+1		輕井沢	45	97.16	4	45	
名古屋第二分 区	8 R C	960			957	+3	北信分 区	小諸	61	94.67	4	61	
	名古屋千種	57	94.30	4	57			丸根	41	92.50	3	40	+1
	名古屋東	102	100.00	4	102			南佐久	35	97.14	4	34	+1
	名古屋北	101	99.73	4	101			佐久	41	93.07	3	43	-2
	名古屋名北	59	100.00	4	59			上田	72	90.80	4	69	+3
	名古屋名東	66	100.00	4	67	-1		上田東	58	95.12	4	54	+4
	名古屋守山	84	98.47	4	86	-2		7 R C	353			346	+7
	名古屋和合	93	100.00	4	91	+2		長野野	103	100.00	4	103	
東尾張分 区	7 R C	562			563	-1	南信第一分 区	長野東	81	97.37	4	81	
	犬山	80	100.00	4	80			長野北	64	94.23	3	64	
	岩倉	36	97.80	4	36			長野南	40	98.71	4	40	
	春日井	83	100.00	4	82	+1		中野	46	95.65	3	47	-1
	小牧	72	98.93	4	74	-2		須坂	45	93.30	4	42	+3
	江南	63	100.00	3	63			戸倉上山田	40	95.73	4	42	-2
	名古屋空港	65	99.21	4	64	+1		7 R C	419			419	
	尾張旭	49	98.47	4	50	-1		あづみ野	36	98.61	4	36	
西尾張分 区	瀬戸	81	99.08	4	81		南信第二分 区	茅野	39	91.03	4	38	+1
	瀬戸北	56	100.00	4	56			富士見	34	84.31	3	35	-1
	豊山城山	65	96.87	4	63	+2		白馬	41	91.78	4	40	+1
	10 R C	650			649	+1		木曽	42	93.42	4	41	+1
	あま	86	100.00	4	88	-2		松本	73	98.96	3	74	-1
	尾西	56	99.55	4	57	-1		松本東	52	95.67	4	47	+5
	一宮	94	98.47	3	94			松本南	82	100.00	4	82	
	一宮北	86	97.66	4	84	+2		松本西南	54	96.21	4	55	-1
三河第一分 区	稲沢	60	100.00	4	58	+2	南信第二分 区	岡谷	63	97.57	4	67	-4
	西春日井	61	97.95	4	60	+1		大町	62	93.88	4	62	
	尾張中央	41	100.00	4	42	-1		塩尻	46	92.39	4	46	
	津島	85	100.00	4	82	+3		諏訪	62	92.70	5	64	-2
	8 R C	569			565	+4		諏訪湖	57	100.00	3	50	+7
	渥美	62	90.48	4	63	-1		14 R C	743			737	+6
	蒲郡	78	97.92	4	78			飯田	96	100.00	4	96	
	奥三河	52	87.98	4	53	-1		飯田南	82	100.00	4	82	
三河第一分 区	新城	52	95.73	4	53	-1	南信第二分 区	飯島	34	94.19	4	31	+3
	田原	77	98.33	4	76	+1		伊那	83	95.98	3	80	+3
	豊橋	124	99.41	3	124			駒ヶ根	65	100.00	5	62	+3
	豊橋北	114	99.30	4	114			松川	66	95.76	3	66	
	豊橋南	75	99.28	4	75			箕輪	37	89.18	4	36	+1
	豊川	79	91.18	4	80	-1		辰野	45	94.83	4	45	
	豊川宝飯	43	95.35	4	41	+2		8 R C	508			498	+10
	10 R C	756			757	-1		総計	96 クラブ	6,731	97.11		6,697



地区ニュース News of District

「チビッコ野球チーム・監督夫妻を表彰」 (中野ロータリークラブ)

去る8月15日、中野市チビッコ野球チームのリトルタイガース創立10周年記念に際し、地域の青少年育成に多大の努力をされた、中島監督御夫妻を讃え、表彰状と記念品を贈りその労をねぎらいました。



「豊田東RC文庫」設置 (豊田東ロータリークラブ)

愛知県、豊田東（第260地区）では、新プロジェクトチーム「国際奉仕委員会」が中心となり、昨年10月豊田市に開設したオイスカ中部日本研修センター（東南アジアよりの研修生）50名に対し、毎月第一例会日に会員、家族、従業員より新書本、中古本を集め寄贈しています。

絵本から専門書まで多種多様な本が集まっていて、早や3回目の回収で1,988冊にのぼり研修生に喜ばれています。

この計画は3年間継続されますが、農業、畜産、林業、園芸等に関する英語版参考書等が書棚に寝ておりましたらご寄附お願いします。



計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

1月3日 田中正司（犬 山）

24日 吉田恒雄（東 海）

「クラブ合同で障害者に福祉を」 (春日井ロータリークラブ)

昭和61年10月19日、春日井、小牧、名古屋空港の3ロータリークラブは、合同事業として、わが国最大の総合療育施設であり、心身障害者の総合リハビリテーションセンターである「愛知県心身障害者コロニー」の毎年恒例の「コロニー祭」に参加して合同バザーを開催した。

当日3クラブから多数の会員が参加し、各クラブ会員から供出された約2,200点の物品は、好評のうちに買い取られ、その売上げ金は直ちに愛知県心身障害者コロニーに寄贈された。

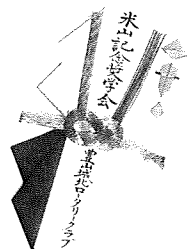
昭和61年11月14日、春日井、小牧両クラブは合同例会を開催し、特別行事として職業奉仕表彰を行った。

すなわち春日井、小牧両地区の精神薄弱児施設、障害児養護学校、老人ホーム等に10年以上の永年勤続された12名の福祉功労者を合同例会に招聘して表彰を行い、記念品を贈呈してその職業奉仕の功を称えた。



「お年玉の米山奨学金寄付 ガバナー公式訪問記念」 (豊田城北ロータリークラブ)

新年早々1月13日、ガバナー公式訪問で米山記念奨学会寄付が、多額に寄せられました。お年玉のような気づかいに、心から感謝いたします。





おめでとうございます

米山功芳者	太田 要 (名古屋東)	寺沢竹三郎 (名古屋千種)	大崎 栄治 (名古屋港)
山寺 豊一 (上田 東)	山路 兼生 (名古屋南)	木 全 昭二 (名古屋千種)	加藤 景德 (名古屋港)
林 幹郎 (犬 山)	宇佐美敏夫 (名古屋東南)	加藤 敏昌 (名古屋千種)	松林常太良 (名古屋港)
水野 栄一 (名古屋空港)	古瀬弘文 (新 城)	菅原 宣彦 (名古屋千種)	佐藤 雅一 (名古屋港)
松原利幸 (岡 崎)	井上 保 (松本 東)	佐藤志津吉 (瀬 戸)	西田 篤生 (名古屋港)
伊藤昭彦 (豊 橋)		山岸 恒男 (松 本)	福田 英雄 (名古屋西)
平山敏彦 (富士 見)	ポールハリス	小林 武義 (松本 東)	近藤 秀一 (名古屋西)
林 輝幸 (小 諸)	加藤 寿久 (東 海)	深田三太夫 (岡 崎)	山田 正男 (名古屋西)
白田 正雄 (小 諸)	青井 計佳 (尾張中央)	溝口 久規 (犬 山)	伊藤 泰弘 (名古屋西)
小野真一郎 (辰 野)	林 真吉 (春日井)	大池 秀雄 (名古屋南)	桜井 昇 (名古屋西)
武藤 弘 (上田 東)	和田喜久男 (西 尾)	太野 重忠 (名古屋港)	江口 明 (岩 倉)
川上 喜男 (上田 東)	伊藤喜八郎 (犬 山)	加藤 久豊 (名古屋港)	寺田 勝一 (豊 田)
浅野多喜男 (あ ま)	高田 昇 (豊 川)	杉浦 弘 (名古屋港)	
松田 謙三 (あ ま)	神谷 治 (高 浜)	齊藤 章 (名古屋港)	
榊原正純 (蒲 郡)	神谷久弥太 (高 浜)	川口 真 (名古屋港)	
河合 二一 (小 牧)	木村仁彦 (名古屋東南)	鳥居 克彦 (名古屋港)	

おしらせ

Information

3月29日(日)北信分区、4月11日(土)東信分区
開催のI.G.Fに、アドバイザーとして篠田義
一がバナーノミニーが出席いたします。

地区協のお知らせ

1986～87年度地区協議会が決定しました。

第276地区 岡崎南ロータリークラブ 4月26日

第260地区 長野北ロータリークラブ 5月10日

花・を・訪・ね・て

四季の彩り

椿(ツバキ)

つやつやした葉の間に大輪の艶麗な花が咲く様は、あふれるばかりの葉さえ乏しく感じられるほど美しい。一重椿、八重椿、また紅、白、絞りなど、色、品種は豊富にある。

日本では春を代表する神聖な木の意をこめて椿と表わすが、中国では山茶、また海石榴とも書く。

日本では、伊豆大島が椿の名所として知られる。

落ちぎまに蛇を伏せたる椿かな

夏目漱石

